KSKP（BUG）第３種郵便物承認　通巻第12502号　　2023年　8月13日発行

一九八四年八月二十日　第三種郵便物承認　毎月（1・2・3・4・5・6の日）発行

KSKP BUG（バグ）

No. 106

発行人／関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4F
編集人／〒601-8036　京都市南区東九条松田町６２
NPO法人日本自立生活センターワークス共同作業所
TEL (075) 682-3201
FAX (075) 682-3330
http://kyoto-j-works.com/
Ｅメール info@kyoto-j-works.com
編集責任者　大崎雅彦

暑中お見舞い申し上げます

2023年夏

プラネタリュウム

イラスト / 鈴木翔太

目　次

特　集

特集「アートフェスタ2023関連企画」 ～私の自由・自立生活～ ・・・・・・・・・・・・・・・ 2
アートフェスタ2023開催ご案内 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
昭和への旅 その七 「駄菓子屋さん」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
第30回近畿車いすツインバスケットボール選手権大会観戦記 / 総会と交流会 ・・・・・・ 6
イベント報告/ 聖林院みみづく便り ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
あしあと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

特集「アートフェスタ2023関連企画」　～私の自由・自立生活～　私はこう思う…

今回はまもなく開催するアートフェスタ2023「自由（freedom）あなたが自由になれる～時(トキ)、物(モノ)、場所(バショ)～」に関連して、自由、自立について触れたいと思います。

一番やりたかったこと。おしゃれな服で出かけたり…

西垣まど佳

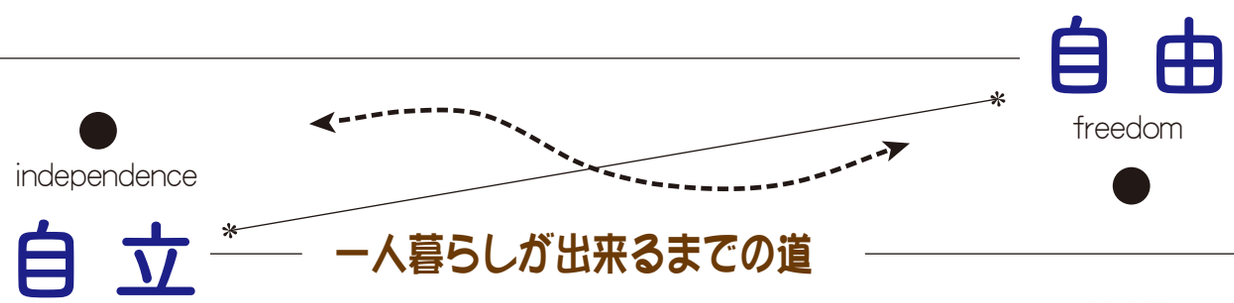
私が30年ぐらい前に自立生活を考えるきっかけになったのは、親が亡くなってから今の生活ができなくなったら、どうしようかなと思ったのが初めです。こどものときから、家にいたので、地域にいたいとおもっていました。

支援学校を卒業して京都府立心身障害者福祉センターに入所しました。この時も一人暮らししたかったけど、周りの人たちからは「自分の身のまわりのことができないといけないよ」と言われて仕方なく、いったん諦めました。その当時は、自分のことが自分でできないと自立生活ができないという考えが普通でした。いろんな意味で、勉強になったけど、長く住むところとしては、施設はかんがえていませんでした。それから悔しくて身の周りのことができるようリハビリをしました。しばらくして世の中では、支援費制度というヘルパー派遣制度が始まり、以前から強く思っていた自立生活をもう一度考え役所の担当者に連絡をしました。施設の人からは、「えっ、施設を出るの？」とあまりいいことを言われなかったけど気持ちは出ることしか考えてなかったので、施設を退所して念願の自立生活を始めました。

はじめて、家の鍵を手にした時の嬉しい気持ちを、今も思いだします。必要なものをかいそろえに行く時、ウキウキしました。

一人暮らしをして、一番やりたかったことは、おしゃれな服で外に出かけたりして、楽しさいっぱいになりました。一番初めの失敗は、ヘルパーさんをキャンセルしわすれていたことがありました。

これからも色々あっても乗り切るぞ。



一人暮らしが出来るまでの道

鈴木翔太

僕が一人暮らを始めたきっかけは、母親がなくなったのが大きい理由です。姉も父も僕には、自立生活はできないと言いました。僕は人のバックアップがあればできる、と思いました。それからコーディネーターさんといろんな不動屋さんに家を探しに行きました。でも、すぐに家は見つからずにケースワーカーさんにも相談しました。それから大きな会議を開いて何回も相談しました。家探しもしました。三回目で自分にぴったりの家が見つかりました。

他の事業所さんにもきてもらって今の暮らしが出来てそれまでには長い道のりがありました。はじめは不安ありました。実家にいた時は、深夜でも家族がいたので排泄などは、不安はありませんでした。一人暮らしになったら介助者がいない時には、お手洗いどうするのかと不安でした。今はもう慣れていますが初めのころは、不安が大きかったです。今は全然なくなりました。もう6年目に入りました。

特集「アートフェスタ2023関連企画」　～私の自由・自立生活～　私はこう思う…

もっと他の選択もあった中で今の選択が結果的には良かったです。実家にいたころは出かける場所はすべて親が決めていました。今は行きたい場所を自分で決めています。一人暮らしをしていきたい場所が自分の意思で決めることが出来るので嬉しいです。いけていない場所がまだあります。いろんな場所へ行きたいです。まだ近くしか行っていません知らない街にも行きたいです。遠い場所へも行きたいです。一度、海外にも行きたいです。毎日、思っています。例えばディズニーランドの場所へ行きたいです。もっと遊びに行きたいです。今は、生活が出来ています。

グループホームやショートスティを見学に行きましたが、僕の中では、暮らしが合わなかったので結果的に、グループホームはやめて人の手を借りて自立の道へたどりつきました。今はそれが良かった選択になりました。好きな事が出来るので嬉しいです。後は自分で決められることも嬉しい事です。いろんなことにチャレンジ中です。

一人暮らしを始めてからいろんな経験が出来ていますはじめはやってみたら面白かったです。このごろは行きたいとこあるといけていますわくわくします。楽しくなってきました。いろいろできるようになってきました。

JCIL&Works アートフェスタ
Art Festa 2023

テーマ「自由(freedom)」
あなたが自由になれる～時(トキ)、物(モノ)、場所(バショ)～

わがままと自由意志の違い

maybe 所員

当事業所・作業所の第一にある自立ですが、自立と言えば確かに聞こえは良いと思いますが、私は自立と言えば大抵許されているような傾向があるように感じている。また、こういう事を言えばあなたは自立していないだけや等批判が出るであろう。がしかし、自立と言いながらそれは単なるわがままなのではないかと思う事もしばしばある。例えばですが、当事者がこの時間は嫌だ。と言えば介助者は従わないといけなくなると思う。利用者がこの時間に～をしたいと言えばその通りにしないといけない感を受ける。また小さい頃から集団生活をしてきていない利用者にその傾向は強く見られると思う。

・集団行動をしてきていない利用者は自立と言い自分の思い通りに行動を取ってきているからだろうと思う。しかし集団生活を経験している者は、自分の思った時間だけで行動がとれないのを知っているし、周りに合わすことが必要な事くらい当然と思って育ってきている人も居ると思う。それを知らずに生きてきた人は解らないのは仕方がないと思うけどそれを自立という言葉で逃げているように感じる。きれいごとのように感じる。しかしそのような事をこの団体で言おうものなら袋叩きみたいになるであろう。

だって上の者が知らないのだから。上の者の常識が下も常識みたいなものだから。わがままに感じるところは多い。それを自立という言葉で逃げているように思う。逃げているというのは語弊があるのかもしれないけども・・・。正直この団体に中途障害者（運動系クラブ卒）居るのが良いのか解らない。

もうこの業界に長くいる方はそんな事も無いのだろうけども。この業界が短いものはシンドイであろう。と私は感じている。じゃあ出て行ったら良いやんで済まされるであろう。この問題は正直難しい。

どう感じるかは人それぞれだと私は思う。そんな私が間違っているのだろうと思わされて暫らく過ごしている。

特集「アートフェスタ2023 開催」　Art Festa 2023　～みなさんでどうぞ～

アートフェスタ2023
今年のテーマは「自由・freedom（フリーダム）」

あなたが自由になれる～時(トキ)、物(モノ)、場所(バショ)～

今年のテーマについて

今回は、あなたが自由になれる、
「～時（トキ）、物（モノ）、場所（バショ）～」です。
私たちは、コロナ等により様々な形で、自粛と制約を余儀なくされてきました。そんな環境が収束を迎えつつある今、あなたが自由になれる瞬間や物(アイテム)、場所等を表現してみてください。
みなさまのご応募をお待ちしております。

アートフェスタとは・・・

障がいのある人が地域や施設で生活していく中で自分を表現する手段としての芸術、工芸の作品展。
また障害のある人の周りに居て色々な事を一緒に考えて行動する人たちも作品を作って考えて欲しい作品展です。

日　　時：2023 年 8 月 24 日（木）～ 9 月 6 日（水）午前 10 時～午後 4 時（最終日は午後 3 時まで）
場　　所：京都市地域・多文化交流ネットワークサロン（会場展示）
（詳しくはこちら http://www.kyoto-j-works.com/art_festa2023_info.html）
主　催：特定非営利活動法人日本自立生活センター　ワークス共同作業所
協　力：京都市地域・多文化交流ネットワークサロン
連 絡 先：ワークス共同作業所
TEL：075-682-3201　FAX：075-682-3330　E-mail：info@kyoto-j-works.com

Art Festa 2023

今年も「アートフェスタ」の季節がやってきました。
年々、出展してくださる方も来場してくださるお客様も
増えてきました。今回のテーマは、「自由（freedom）」です。
そこで BUG では、アートフェスタの開催を記念して、本号より数回にわたって
自立生活や様々な人生の選択における「自由」等について取り上げてみたいと思います。
アートフェスタの作品等を通してたくさんの出会いがありますように。

あの頃企画・・・ 2023年 昭和への旅

そのヒ「駄菓子屋さん」

＊----------＊

小学生の頃、近くの駄菓子屋に良く行っていました。そこで、瓶ジュースやお菓子、アイスクリーム等良く買っていました。なかには、うまい棒やチロルチョコ、コーラのラムネにハマって、毎日買ったこともありました。

駄菓子屋に、いくつかのゲーム機が置いてあって、時間があれば、インベーダーゲームや、ピカデリーサーカスをやっていたことも良く覚えてます。あとは、ガチャガチャやったり、アイスクリームに当たりが出たら、もう１本もらいにいったりして、今でも思い出になってます。

今でも、どこか駄菓子屋があれば、ラムネでも買おうかなと思うしいつまでも残してほしいと思います。

（えき田大輔）

＊----------＊

幼かった頃のおつかいは、近所のたばこ屋さんを兼ねた本当に小さな商店だった。

調味料や食料品、雑貨、たばこ等が並んでいた。

その一角に駄菓子のコーナーがあったが、当時、頼まれた買い物のお釣りは、お駄賃としてもらえたので、ほとんどがガムやカレーせんべい、チロルチョコ、パチパチコーラ、タバコのチョコレートに変わったりしていた。

大人になった今でも店頭で駄菓子を見ると大人買いしたくなってしまったりする。実際に購入したことはないが、思わず箱買いしたくなってしまう。　（八木俊幸）

＊----------＊

参加しましたよ

第30回近畿車いすツインバスケットボール選手権大会観戦記

5月21（日）に西宇治公園体育館で第30回近畿車いすツインバスケットボール選手権大会が行われワークスの職員をされているＹ・Ｙさんが所属しているチームが出場すると知ったので介助者と見てきました。

試合の前の日に話を聞いていると今年のチームの仕上がりが良いからか解りませんがこの近畿大会は次の全国大会の為の力試しみたいに考えている大会ととらえているような話をされていました。という事は、結構自信があるのだろうと期待していました。

そして当日の21日。会場に試合前にちゃんと着きました。Ｙさんはリーサルウエポンとチームで呼ばれているようなのでどのタイミングで出てくるのか分からないけども凄い期待の持てる選手と勝手に予想していました。チームは見ていないけども聞いた話では自信が有りそうだったので、もう余裕で勝つのだろうと思っていましたが、開始直ぐは相手の方が先制点を取ったしアカンやんと思っていましたが、それからはＹさんのチームが本領発揮したのか、ほぼ相手のコートでの試合をして得点を重ね1試合目は終わってみたら結構圧勝で終わりました。ほぼ相手のコートで試合をしての圧勝でした。

2試合目もＹさんのチームは好調で1試合目同様に見ていて何の心配もなく、試合前日に聞いていた話は本当なのだな、と思いました。私はツインバスケの事は無知ですが、この日の試合を見て全国大会でも結構良いところまで行くのではないかと思い期待が持てました。でもまぁ上には上がいるのでそう簡単では無いでしょうが、全国大会の結果も結構期待を持たしてくれる結果だったと私は試合を見てそう感じました。

門野純平

総会と交流会　　6月8日（木）

いつもなら、東九条の希望の家の大きい部屋の一室を借り、そこで総会と交流会をしていましたが、今年は部屋の空きがなく、よそでしなければならなくなりました。いろいろと探しウイングス京都で決まり、僕はウイングス京都の名前は、聞いたことがありますが、行ったことはなく前日に下調べして、建物の前まで行ってきました。

ワークス総会の様子

当日は、少し早く着いたので皆の来るのを待つとして、先に会場に入るとずいぶん大きい部屋でした。11時から総会が始まり、まず議長を決めて、ワークスの2022年度の活動報告や決算報告などが話し合われました。昼ご飯を食べて13時30分から日本自立生活センター、自立支援事業所、ワークス共同作業所の合同交流会をしました。

自立支援事業所との合同交流会の様子

最初にJCILとワークスの歴史、ワークスの始まり今までの事を話されました。その後は、僕がだいたい皆がしている仕事の事、イベントや名刺や封筒印刷やアートフェスタの事やホームページなどを話しました。

ワークスでは、もう一人イベントの事を話して貰いました。その後、木曜プログラムの人が活動内容を話されたり、水曜プログラムやサロンの方々も報告されました。事業所は、事務関係からヘルパー派遣、車の送迎など詳しく話されました。

本体と言われているJCILは、幅広く福祉まつりや街頭でのデモや自立生活の事や行政での話し合いなどやっていますと言われました。途中で皆で、集合写真を撮りました。長い間、コロナ過の中で皆さんと集まるのも久しぶりなので大変良かったと思います。

椿森　信幸

イベント報告　Work's event

・・・　向島にっこりフェスティバル2023　・・・・・・・・・・・・・・・

6月4日日曜日、向島愛隣館にて、朝11時から向島にっこりフェスティバルが開催されました。この日は梅雨晴れといった天気に恵まれ、各自、水分を摂りながらイベントに参加しました。中には、ビールを飲みながら会話が弾む姿も見られました。昼食を食べてから、ワークス音楽隊は、会場に行って笛演奏をして、次に手拍子を取りながら歌の演奏をしました。会場のみんなもノリノリで、良かったです。
昼過ぎになると、暑さもピークになり、熱中症にならないか心配してたけど、日陰に入ったりして、何とか暑さを凌ぎました。この日も暑かったから、ソフトアイスが完売し、わた菓子がたくさん売れて大繁盛でした。終了時間に近づき、みんなで後片付けをしてから解散しました。
晴れた日に、こういうイベントに参加するってことは、誰もが清々しく感じるし、最高な気分になれるし、本当に楽しい一日を過ごせたと思います。次回もまた、向島にっこりフェスティバルを楽しく参加できるよう願っております。　　嶂田大輔

・・・　夏の432市は暑かったですよ（笑）　・・・・・・・・・・・・・・・

7月のイベントは、432市（ほっこり）だけでした。梅雨がまだ開けていない、雨が降りそうな天気。それでも主力はソフトアイスやワークスの小物です。頑張りましたよ（笑）。暑かったので実によく売れました。
☆8月の432市はお休みです。

椿森　信幸

・・・・　**あらためて暑中お見舞い申し上げます。**　・・・・・・・・・

聖林院みみづく便り　～夏疲れに気をつけてください。～

maybe所員

梅雨入りの声も聞こえてきた5月の終わり。降るのか降らないのか解らないようないや～な天気のある日。みみづくさんのお庭ではテントの下で何やら一同が集まり色々と話に花を咲かせていた。その花も綺麗な花かどうかは微妙な感じ（笑）。多分綺麗じゃないのがワークスの話の花です。でもワークスらしくて好いよいと聞いていたみみづくさん。さてその中身は？=それをmaybe所員が書くのだから信憑性が低いのはお許しを=。その日はmaybeの日頃している作業の事で職業指導員からこっぴどく叱られているようで、生活支援員の方（PCの事はほぼノータッチ）からも注意を山のように受けたmaybe所員。作業の技術的かどうか怪しいですが、Maybe所員は日頃からPOPを任されているので、色々な事がある時に作業を1人に任さないでくれと困惑している。が、「1回したらず～っと」のワークスなので何度も任されては何度も注意を受けているmaybe所員で進歩があまり見られない。maybe所員は参っているのです。Maybe所員はなんとも情けないのです（涙）。さてそれでmaybeは今後どうするのだろうか？みみづくさんも楽しみにして状況を眺めている。

さぁて今後のmaybeが非常に楽しみなみみづくさん。みみづくさんに願かけしてもこの状況をどうすれば良いかの答えは自分で何とかしてみろ、と教えてくれません。皆が帰宅後の雨はもしかしたらmaybe所員の悔し涙かもしれないなとおもうみみづくさんだった。

一九八四年八月二十日　第三種郵便物承認　毎月（1・2・3・4・5・6の日）発行

あしあと

（2023年4月～6月）

04月22日（土）　東九条春まつり参加、釣り堀、物品販売、バッジ作成等
05月12日（金）　畑
06月01日（木）　NPO法人ワークス共同作業所　理事会
06月06日（火）　アートフェスタ2023ビラ完成、作品募集受付開始
06月08日（木）　ワークス共同作業所、通常総会）11:00～
　　2023年日本自立生活センター交流会 13:30～
　　（ウイングス京都）
06月10日（土）４３２市
06月26日（月）京都国立博物館見学
06月29日（木）～
　　30日（金）JCILの京都市交通局乗務員研修に参加（一部）

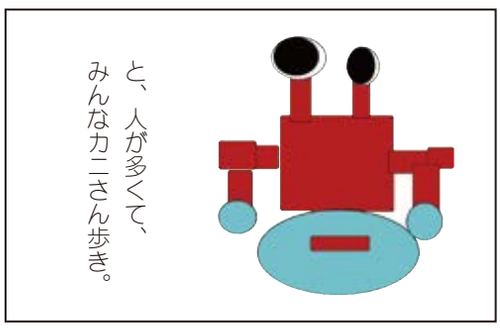
☆今年はワークス夏季休暇（お盆休み）はございません。暦通りです。

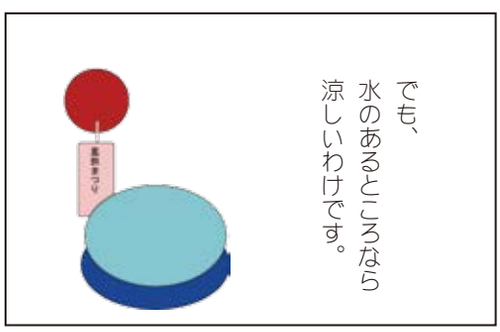
ワークス3Fに販売ブース開店お待ちしてます

ワークスの 3F に販売スペースを作りました。ぜひ見に行って下さい。作業所とサロンの自主製品やリサイクルローソク等を揃えています。ご希望の品がある方は 3F サロンスタッフか 1F・2F のワークススタッフまでお声掛け下さい。

姫のつれづれ日記

～2023夏・・・～　　demi





編集後記（あとがき）　team BUG

今回のBUGは書きやすかったです。今回のテーマは自分に関係するものだからすらすらと書くことが出来ました。関心がないものは書く気にはなりません。難しい記事は、むりやり言葉をだそうとしますがいい記事はなかなか浮かばない事がわかりました。もっとやりやすい文章ならいいとおもいました。　（鈴木翔太）

久々に参加した向島にっこりフェスティバルで、初夏の快晴に恵まれる良いイベントでした。アイスクリームが完売するぐらいに大変人気があって、ワークスにとってはとても嬉しい限りでした。あと、少年の頃、良く駄菓子屋に行ったことを思い出して、とても懐かしかったです。ほかに昭和のネタがあれば、そこまで足を運び、満喫しようと思います。　（ 嶸田大輔 ）

今年も早い事にもう半分が過ぎた。かと言って自分自身に良くなった変化は大して見られない事が悲しい事である。だから機関紙にもあまり力になれていない。間もなくアートフェスタが開催されようとしている。今年も会場で作品が展示される。今回のアートフェスタはどうなるのだろうか？楽しみである。皆様も楽しみに来て頂きたい。　（maybe所員）

発行人／関西障害者定期刊行物協会　〒543-0015大阪市天王寺区真田山町2-2東興ビル4F

定価１００円